

# 平成27年度 第1回櫛引地域地区公民館運営審議会

□日 時：平成27年6月25日(木)

午後6時30分～

□場 所：櫛引公民館講座室

## 次 第

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ

4 委員長、副委員長選出

5 協 議

(1) 平成27年度櫛引公民館関係事業について

(2) その他

6 閉 会

## 平成27年度櫛引公民館関係事業

### <事業一覧 目次>

#### 1. 社会教育事業（社会教育課関係事業）

- (1) 【子どもの放課後対策事業】 p. 2
- (2) 【成人式】 p. 2
- (3) 【婦人団体活動支援】 p. 3
- (4) 【家庭教育推進事業】 p. 3
  - ・人形劇公演
  - ・育児講座
- (5) 【青少年教育事業】 p. 4
  - ・子ども会育成会連合会への支援
  - ・高校生を持つ親の会への支援
  - ・会員研修会（合同研修会）の開催
  - ・子ども会リーダー研修会
  - ・子ども育成合同研修会
- (6) 【青少年健全育成事業】 p. 5
- (7) 【高校生ボランティアの推進】 p. 6
- (8) 【勤労青年活動支援事業】 p. 6
- (9) 【地域地区公民館市民学習促進事業】 p. 7
  - ・生涯学習講座の開設運営
  - ・受講者自主サークル活動の支援
- (10) 【生涯学習情報の提供】 p. 8
- (11) 【視聴覚教育の推進】 p. 8
- (12) 【芸術文化振興事業】 p. 9
  - ・櫛引芸術文化協会への支援
  - ・くしびき文化祭
- (13) 【文化財管理保存事業】 p. 9

#### 2. 文化・文化財施設関係事業

- (1) 【民俗芸能保存伝承事業】（地域振興課、地域活性化事業） p. 10
- (2) 【文化施設管理運営事業】（地域振興課、地域振興事業） p. 10
  - ・王祇会館管理運営事業
  - ・丸岡城跡史跡公園管理事業

#### 3. 生涯学習振興事業

- (1) 【生涯学習振興事業】（コミュニティ推進課、生涯学習振興事業）
  - ・生涯学習推進員の設置 p. 11
- (2) 【公民館類似施設支援事業】（コミュニティ推進課、 // )
  - ・自治公民館連絡協議会 p. 11
  - ・公民館類似施設事業振興（運営補助）、公民館類似施設整備事業
  - ・出前講座（自治公民館学習活動の支援）

# 1. 社会教育事業（社会教育課関係事業）

## (1) 【子どもの放課後対策事業】

事業名	放課後子ども教室
目的	子どもたちに、放課後の安心・安全な活動拠点を提供し、遊び、学習、交流活動を行うことで、地域の教育力と子どもの社会力の向上を目指す。
内容	放課後の児童の安全・安心な居場所として下山添地区公民館を「西小放課後子ども教室」として開設する。運営の費用は、国・県・市が1/3ずつ負担。 施設及び安全管理のため教育活動推進員3名と教育活動サポーター1名を配置し、常時1~2名で安全管理を図っている。
実績	日数171日（12月~3月は休校）、参加人数892人、平均参加5.2人/日。 下山添地区以外からも遊びに来る子どもも多い。（下山添41人、その他19人） 農作業体験としてサツマイモや枝豆等の栽培を行い、収穫したものは収穫祭と称して保護者も交えながら芋煮を作り会食した。 母の日のプレゼントづくり（ポケットティッシュ入れ・ジュジュ作り）や下山添地区育成会と協力しながらハローウィンイベント（親子でジャックオランタンづくり・下山添地区内の家庭を訪問しながら地域めぐり）を実施する等、地域や保護者の方々の協力を得て、子どもたちが楽しめるイベントを実施した。
評価・反省	「放課後子ども教室だより」の発行や保護者の方との密な連携により、保護者の方の関心を高めることができ、充実した活動ができた。引き続き、保護者や地域の方々と協力しながら事業を実施していく。 地区の子どもの数や社会情勢（国の方針・制度等）、活動実態に合わせ、事業の実施の仕方（活動場所、活動日程、活動内容等）を検討していく必要がある。
27年度の計画	国の放課後子ども総合プラン策定を踏まえ、山形県、鶴岡市の方針をもとに、保護者や地域の方々、学校と協力し合いながら、子どもたちのためによりよい事業展開を目指していく。 地域や保護者の方々の力を発揮していただき、体験活動をより充実させていく。

## (2) 【成人式】

事業名	鶴岡市櫛引地域成人式
目的	人生の節目を迎え大人としての自覚を新たにした新成人を祝い励ますため成人式を開催する。自主企画の実行委員会方式による仲間づくりを進める。
内容	日 時：平成26年8月14日（木）13:30より 対 象：平成5年4月2日~平成6年4月1日生れの、櫛引中学校卒業生及び櫛引地域在住の者 実行委員会：事前6回、事後1回 当 日：オリエンテーション、式典、自主企画（実行委員制作映像を上映、記念文集の作成）、記念写真撮影、祝賀パーティー 記念品：新成人自主制作DVD（ケーブルテレビ制作協力）「続88MEMORIES」
実績	対象者91人 式典参加者73人（参加率80.2%）
評価・反省	5月広報で実行委員を募集した他、前年度実行委員からの推薦により実行委員12名が集まった。成人式自主企画の発案・運営により、縦横のつながりの強化、青年層の育成にもつなげている。 式典はおごそかな雰囲気で行われ、その後の自主企画は恩師を交え昔を懐かしみながら懇談していた。
27年度の計画	日 時：平成27年8月14日（金）13:30より 対 象：平成6年4月2日~平成7年4月1日生れの、櫛引中学校卒業生及び櫛引地域在住の者99名（櫛中卒業生95名 転入者4名）

### (3)【婦人団体活動支援】

事業名	女性のつどい開催事業
目的	櫛引地域内の女性団体が連携し、地域の課題を探り問題解決に向け研修することで相互の理解を深め、豊かで安心して暮らせる家庭と地域づくりを推進する。
内容	鶴岡市櫛引地域女性団体連絡協議会による合同研修会の開催 加入団体：櫛引老人クラブ女性委員会、鶴岡市櫛引地域婦人会、あぐり女性の会、出羽商工会女性部櫛引支部
実績	期 日：平成26年12月6日（土） 場 所：櫛引公民館 内 容：「メタボ撃退！～肥満の予防と運動療法～」 講 師：庄内余目病院健康運動指導士 島谷 一成 氏 参加者数45名参加
評価・反省	健康維持や体力向上のために有効な運動を、実演を交えて教えていただき大変わかりやすく、楽しく受講できたという声が多数あった。 4つの団体に重複して会員になっている方も多く、集客が難しい。
27年度の計画	引き続き12月ごろ実施予定であるが、講演内容等は役員会で検討中である。

### (4)【家庭教育推進事業】

事業名	人形劇をたのしむ会
目的	子ども達への読み聞かせの一環として絵本作品を人形劇で上演することにより、幼児期からの読書力の向上を目指すとともに、図書館利用の周知をはかる。
内容	平成11年度から人形劇MあんどB（千葉県船橋市）に依頼している。
実績	人形劇公演 日時：7月4日（金）・5日（土） 場所：櫛引公民館 出演：人形劇MあんどB 参加者数：215名 （櫛引地域の保育園、鶴岡市内の未就園児と保護者、関係機関職員等）
評価・反省	人形劇については、保育園と子育て支援センターを通して未就園児に呼びかけを行ったが、後者の参加が少なかったため、もっと積極的な呼びかけが必要であった。
27年度の計画	人形劇については、公民館直轄事業として10月中旬に実施予定。

事業名	育児講座
目的	親同士の交流を深めながら大事な幼児期に楽しく子育てができるよう支援する。
内容	子育て支援センターと共催で「ふれあい遊び」を実施した。
実績	「ふれあい遊び」 講師 渡邊 法子 氏 日時：2月10日（火） 場所：櫛引スポーツセンター 武道場 参加者数：幼児（1～3歳）とその保護者13組・28名
評価・反省	地域内保育園や子育て支援センター等の関係機関と連携し、ニーズを把握して事業展開を行った。ただし、家庭教育事業に対する必要性や認識がまだ低いいため、それらを高めるための方法を検討する。
27年度の計画	育児講座については引き続き昨年と同時期に開催を予定している。

(5)【青少年教育事業】

事業名	子ども会育成会連合会への支援
目的	子ども育成の共通課題の解決と育成活動の向上を図り、健全な育成を図る。
内容	実技研修会の開催 子ども会安全共済会への加入手続き
実績	実技研修会 12/7(日) 親子 61 名参加 (子ども 38 名・保護者 23 名) 「みんなであそぼう! だがしや楽校」 講師: 特定非営利法人 公益のふるさと創り鶴岡 結城ななせ 氏 ほか 14 名 ボランティアスタッフ: 高校生ボランティアサークル「NO-SIDE」 5 名 子ども会安全共済会は全 21 地区が加入している 平成 26 年度事故は発生していない。
評価・反省	実技研修会では多くの親子参加があり、子どもだけでなく指導者の研修にもつながった。 夏休み前に運営委員会を開催し、子ども会活動中の事故防止の徹底を呼びかけた。
27 年度の計画	引き続き子ども育成会行事における事故防止の徹底を呼びかける。 各地区の子ども育成会活動に資するため、12/12 (土) 実技研修会を開催。 リーダー研修会での児童の指導へ育成会の積極的な参加を呼び掛ける。

事業名	高校生を持つ親の会への支援
目的	親としての資質向上と会員相互の連携強化、地域・家庭教育における教育の充実、各地区親の会と高校生の会の組織と活動を確立、高校生の社会参加 (ボランティアサークル「NO-SIDE」への加入) の促進
内容	会員研修会の開催
実績	子ども育成合同研修会 (H26 主管) 10/4(土) 会員研修会 11/22(土) 29 名参加 (懇親会 19 名参加) 講演「ネットの怖いことベスト 3」 講師: 鶴岡市教育委員会学校教育課 指導主事 佐藤大吾 氏
評価・反省	会員研修会では、会員の子が中学生の時の恩師である先生を講師に迎え、普段の何気ないスマートフォン使い方にこそ本当の怖さがあることを学び、参加者の満足度は高かった。こういった活動があるのを知らなかったという会員もあり、会の活動の PR が必要である。 会への理解不足による未加入世帯、地区が出てきている。
27 年度の計画	10/24 (土) ハローマリッジ倶楽部チーフアドバイザー トミー伊藤氏を講師に迎え会員研修会を実施する。

事業名	子ども会リーダー研修会
目的	子ども会のリーダー養成と子ども会活動の活性化を図り、仲間づくりを目指す
内容	新 6 年生全員が対象 1. アイスブレイキング 2. 金峰登山 3. 危険予知トレーニング 4. 天体観測 5. グループワーク (壁新聞の作成)
実績	対象児童数 58 人 参加者 42 人 (参加率 72.4%) 日 時 平成 27 年 3 月 24 日 (火) ~ 25 日 (水) 会 場 金峰少年自然の家

評価・反省	最高学年になるにあたり、協調性やリーダーシップの育成を行う。金峰少年自然の家の特長を活かしながらの事業計画を練る。
27年度の計画	平成28年3月24日(木)～25日(金)に1泊2日で予定している。各地区子ども会育成会等の協力を得て実施する。

事業名	子ども育成合同研修会
目的	子どもたちの健全育成のあり方を研修する
内容	子どもの健全育成に関わる3団体(子ども会育成会連合会・PTA連合会・高校生を持つ親の会)が合同で開催する研修会。この3団体で主管を持ち回り。
実績	期 日 平成26年10月4日(土) 会 場 櫛引公民館 ホール 講 演 「東日本大震災 子ども達を支え続けて」 講 師 仙台市教育局学校教育学部学びの連携推進室主幹 佐藤 淳一 氏 参加者数：92名
評価・反省	中学校の校長先生として在職中に東日本大震災を経験され、肉親や学校、地域を失った子ども達に、学校教育ができることを考え、行動し、逆境をエネルギーに変えて活躍された生徒の姿を紹介していただいた。会場では佐藤先生とともに子ども達を支え続けたスタッフに驚嘆したという声が多数あり、中には涙する方も見受けられた。
27年度の計画	講師 田中 由起 先生(たなか ゆき) 株式会社IMPRINT ディレクター 幼少期をアメリカで過ごし、上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業。 2001年からPRおよびスポーツ選手を中心としたマネジメントの窓口会社サニーサイドアップに勤務し、競泳の北島康介等、スポーツ選手のマネジメント業務に携わる。2009年からは競泳の北島康介選手が代表を務める会社に勤務。 期日 7月4日(土)14時30分開始

#### (6)【青少年健全育成事業】

事業名	青少年育成推進事業
目的	青少年の健全育成のため青少年育成推進員を委嘱する。
内容	各小学校区単位で1名を委嘱し、各種研修会への参加及び健全育成に関する事業を推進する。報酬：16,000円/年 活動謝金：1,500円/回
実績	庄内地方青少年育成推進員連絡協議会総会、各種研修会、街頭指導への参加。 4月28日 鶴岡市青少年育成推進員連絡協議会総会(にこふる) 6月16日～17日 櫛引地域巡回指導 7月下旬～9月上旬 いじめ・非行防止標語の取り組み 9月2日 櫛引地域青少年育成推進員会議(櫛引公民館) 9月29日～30日 櫛引地域巡回指導 12月12日 市長・教育長と青少年育成推進員と語る会(第3コミセン)
評価・反省	鶴岡市全体の取り組みだけではなく、櫛引地域独自の活動として巡回指導を行った。また、学校訪問や学校の協力・連携をいただきながら「いじめ非行防止」の標語募集を行い、有意義な活動を行った。
27年度の計画	各小中学校の協力・連携を通して、青少年の非行防止、防犯対策を進めていく。

### (7)【高校生ボランティアの推進】

事業名	高校生ボランティア活動の推進																								
目的	地域内のボランティア活動に関心のある高校生の活動を支援する																								
内容	月1回程度の定例会で事業内容を検討し対応。サルビア植栽、保育園夕涼み会への協力、桃寿荘入居者への年賀状手渡し、養護学校との居住地交流活動、青年サークルくしびギン!のイベントへの協力を行った。																								
実績	<p>会員数5人          内訳：中央高校（2年生1人）、天真学園高校（2年生1人）羽黒高校（1年生3人）</p> <p>主な活動実績</p> <table border="0"> <tr> <td>サルビア植栽</td> <td>6/14</td> <td>5名参加</td> </tr> <tr> <td>くしびき地域保育園夕涼み会へ協力</td> <td>7/19</td> <td>5名参加</td> </tr> <tr> <td>居住地交流活動</td> <td>7/27</td> <td>5名参加</td> </tr> <tr> <td>YYボランティアフェスティバル</td> <td>8/6</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>わちゃわちゃボランティアフェスティバル庄内</td> <td>10/12</td> <td>5名参加</td> </tr> <tr> <td>YYボランティアサミット</td> <td>12/20</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>クリスマス映写会・サンタイベント</td> <td>12/23</td> <td>5名参加</td> </tr> <tr> <td>桃寿荘入居者へ年賀状書き</td> <td>12/23</td> <td>5名参加</td> </tr> </table>	サルビア植栽	6/14	5名参加	くしびき地域保育園夕涼み会へ協力	7/19	5名参加	居住地交流活動	7/27	5名参加	YYボランティアフェスティバル	8/6	1名参加	わちゃわちゃボランティアフェスティバル庄内	10/12	5名参加	YYボランティアサミット	12/20	1名参加	クリスマス映写会・サンタイベント	12/23	5名参加	桃寿荘入居者へ年賀状書き	12/23	5名参加
サルビア植栽	6/14	5名参加																							
くしびき地域保育園夕涼み会へ協力	7/19	5名参加																							
居住地交流活動	7/27	5名参加																							
YYボランティアフェスティバル	8/6	1名参加																							
わちゃわちゃボランティアフェスティバル庄内	10/12	5名参加																							
YYボランティアサミット	12/20	1名参加																							
クリスマス映写会・サンタイベント	12/23	5名参加																							
桃寿荘入居者へ年賀状書き	12/23	5名参加																							
評価・反省	ボランティア活動を通し、社会性の向上や協調性、仲間とのつながりを深めている。高校単位でのボランティアサークルが増えてきており、地域単位のボランティアサークルの活動が縮小している傾向にあるが、他団体との交流を深め一緒に活動していく。																								
27年度の計画	月1回程度の定例会を開催し、自分たちに出来るボランティアについて考え各種活動に参加する。他サークルとの交流を深め、仲間づくりを進めていく。																								

### (8)【勤労青年活動支援事業】

事業名	青年地域活動支援
目的	青年サークル「くしびギン!」の活動への支援をとおり、青年層の地域づくりへの参画を推進し、次世代の地域リーダーを育成する。
内容	<p>国道112号サルビア植栽への参加          クリスマス映写会・サンタイベント          スキー場イベント          タイムカプセル掘りおこし          ジブトリック講習会・tarajam(ワメイクジャップ大会)の実施          定例会の開催</p>
実績	<p>サルビア植栽 6/14(日) 1名          タイムカプセル掘りおこし 11/9(日) 6名          クリスマス映写会 12/23(火) 4名          サンタイベント 12/23(火) 6名          ジブトリック講習会 1/16(金) 3名          たらのきだいスキー場ファン感謝デーでのゲーム企画 1/17(土) 5名          tarajam2015 2/22(日) 5名</p>
評価・反省	<p>鶴岡いきいきまちづくり事業補助金を受けて、スキー・スノーボードの講習会とジャンプ大会を新たに実施した。新事業実施にあたり企画、準備、開催まで一から考え事業を作り上げるという一連の流れを通して会員の資質向上と地域活性化の一助となった。</p> <p>一方でメンバーの生活実態に合わせた活動の展開と次世代の主力メンバーの確保が課題。</p> <p>次世代の新規会員の拡充につながることを意識しながら、高校生ボランティアNO-SIDEにイベントへの協力を依頼し交流を図った。</p>

27年度の計画	リピーターも多い各種子ども向けイベントや地域の活性化につながるイベントを継続していく。
---------	---

(9)【地域地区公民館市民学習促進事業】

事業名	生涯学習講座の開設運営
目的	市民の学習を推進する社会教育事業の展開
内容	「趣味の講座」の開設（生涯学習推進員が運営を担当） ≪前期≫ 新規4講座、前年度からの継続3講座 俳句、楽書、デジイチ、上生菓子、地酒、消しゴムはんこ、男子料理講座 ≪後期≫ 新規5講座、前年度からの継続4講座 寄せ植え、カクテル、PPバンドでかごづくり、つるあみ、里山、アート水引、獅子舞、塩麴レシピ、写経
実績	≪前期≫ 6月下旬～9月初旬、8講座、20回開催 受講生84名（延べ受講生数182名） ≪後期≫ 9月中旬～10月下旬 9講座、17回開催 受講生100名（延べ受講生数169名） ・より参加しやすいように、1講座あたりの回数を少なくして講座の種類を増やし、前期・後期と分けて実施した。 ・文化祭には、文化祭には、俳句、楽書、デジイチ、消しゴムはんこ、寄せ植え、PPバンド、つるあみ、アート水引、写経の受講生から多くの作品が出展された。また、その他の講座についても紹介とPRを兼ねて、講座の様子をおさめた写真を展示した。
評価・反省	・男性限定の料理講座や青年向けの講座も設定し広く周知した結果、新規受講生を取り込むことができた。 ・前期講座終了後、受講生のニーズも参考に後期講座の募集・実施をしたが、文化祭直前に講座が集中してしまった。
27年度の計画	・前期講座(6/30～8/21) 俳句、楽書、つるあみ、運動する人のための食事術、クラフトテープ、出羽三山信仰と黒川能 ・ホームページやフェイスブックを活用した事業の発信を行っていききたい。

事業名	自主サークル活動の支援
目的	市民の学習を推進する社会教育事業の展開
内容	「サークル活動」への支援 詩吟、書道、筆ペン、切り絵、絵手紙、カラオケ愛好会、楽焼、フリースタイル（よさこい）、フォークダンス、庄内刺し子、昔語り、読み聞かせ
実績	櫛引公民館等を会場とするサークル活動の紹介（募集チラシの作成） 文化祭への参加
評価・反省	展示・公演発表部門ともに、多くの講座が文化祭に参加した。
27年度の計画	趣味の講座→支援講座→自主サークルへの移行については、その熟度と会員の固定具合に併せ、各団体の長と相談のうえ段階的に道筋を作っていく。 自主講座は文化祭への出展、参加の中心であることから、活性化が図られるように、今後とも協力を続ける。



(10)【生涯学習情報の提供】

事業名	生涯学習ひろば（KCT）
目的	鶴岡市ケーブルテレビジョン（KCT）番組を利用して、櫛引・朝日地域を主とした学習情報等の提供を行う。また、広く市民の学習活動、芸術文化活動、サークル、講座等の紹介を通して市民の生涯学習意欲を高める。
内容	鶴岡市ケーブルテレビジョン番組「生涯学習ひろば」制作 （社会教育指導員が取材・番組制作を担当） 放送日：第2・4木曜日（再放送：土～火曜日） 櫛引・朝日地域、市内他地域の生涯学習情報を取材し放送する。
実績	自主製作番組 20本 （青少年育成1、芸術文化3、講座7、伝統文化2、社会教育3、地域活動3、歴史1） （櫛引12、朝日4、鶴岡4）
評価・反省	生涯学習講座や文化活動、歴史を取材・紹介することで、当事者の励みにするとともに広く視聴者への啓発にも役立っている。
27年度の計画	櫛引、朝日を中心としながらも、全市を視野にいれながら、地域・分野のバランスが取れた生涯学習推進に向けて取材制作を行う。 KCTによる情報提供は他地域では出来ない“櫛引地域独自”の広報、学習活動の啓発手段であることをあらためて再確認し、よりニーズにあったコンテンツとなるよう充実を図りたい。

(11)【視聴覚教育の推進】

事業名	視聴覚教材の貸し出し
目的	視聴覚教材の活用。
内容	鶴岡市視聴覚ライブラリー所有の視聴覚教材の貸出(随時受付) 学校や児童館での教材活用、自治公民館や子ども会育成会、地区出前講座等社会教育の場における活用
実績	借用本数 10件 25本
評価・反省	庄内視聴覚協議会、山形県視聴覚協議会の解散により、貸し出し方法に変更があった。出前講座やいきいき健康クラブでの利用が多く見られた。
27年度の計画	引き続き、視聴覚教材の貸し出しを行う。

事業名	子ども映写会
目的	子ども達が様々なライブラリー教材を鑑賞することで感性をみがき、休日がより充実したものになるよう、定期的に映写会を開催する。
内容	夏休みとクリスマス時期に開催
実績	夏休み子ども映写会 8/6(水) 130名参加(子ども、保護者) クリスマス映写会 12/23(火) 69名参加(子ども、保護者)
評価・反省	両映写会とも16ミリ映写機を使って上映した。クリスマス映写会はくしびギンが中心となり企画運営をした。またNO-SIDEの参加もあり、異年齢層ボランティアサークルの交流の場ともなっている。
27年度の計画	夏休み映写会を対象の児童が各種行事(地域行事、スポーツ等)と日程重複が避けられず、参加人数に限られる。一方、青年サークル「くしびギン！」が企画するイベントと同時開催のクリスマス映写会(12/23)は、企画の立体化が図られ事業効果も期待できる。視聴覚教育の意図を重視した映写会単独であるならば、児童向けの行事が手薄な冬期(土日)に開催時期を切り替えたい。

(12) 【芸術文化振興事業】

事業名	櫛引芸術文化協会への支援
目的	櫛引地域の芸術文化の振興を図る。
内容	加盟団体20団体7個人 会員数315名(内民俗芸能団体8) 総会、櫛引地域合同作品展の主管、新春のつどいの開催、くしびき文化祭共催
実績	櫛引地域合同芸術鑑賞会(市芸術祭参加)9月6日(土)、7日(日) 来場者数200名 生け花12点、絵画1点、楽焼25点、銅版5点 切り絵7点、押し花29点、カラオケ発表者12名 合計 55名・79点 新春のつどい 1月10日(土)73名参加
評価・反省	組織構成員の高齢化が問題である。 同時期に同様の作品展が重なる場合があり、作品募集が難しい。 新春のつどいの日程について、発表部門からの参加が多いため、展示部門からの参加も促す。また、それに見合った企画を検討する必要がある。
27年度の計画	6地域芸文協が一体化したことを受け、他地域の芸文協との交流をより多く設ける。 それに伴い、芸術文化活動の充実を図り、更なる会員拡充を図る。

事業名	くしびき文化祭
目的	文化活動の成果発表、相互鑑賞と交流により櫛引地域の生涯学習活動の発展に資する。
内容	展示部門 書道、絵画、写真、生け花等 公演発表研修部門 文化財めぐり・まなびいステージ 参加事業 櫛引地域内小中学校文化祭、読書週間
実績	展示部門 10月31日(金)～11月3日(月) 会場：櫛引公民館 出展者数：延べ505名 出品数：576点 鑑賞者数：延べ1039名 ※特別展 山形県埋蔵文化財展～足元には文化財展～【縄文の女神(レプリカ)展示] 公演発表研修部門 「文化財めぐり」 10月26日(日) 寒河江市の文化財を鑑賞 参加者 12名参加 「まなびいステージ」 11月16日(日) 会場 櫛引公民館 参加者 15団体 141人 鑑賞者数 250名
評価・反省	展示部門において、展示期間を例年より1日多くした結果、鑑賞者数が1000人を超えた。
27年度の計画	今年度は昨年よりさらに展示期間を1日延期して開催し、鑑賞客の集客拡大を図る。 今年からは【実行委員会形式】で開催となるため、他地域で実施している文化祭を参考にし、準備・企画の段階から、出品者や参加者などの参画を増やすなど、事業を盛り上げていきたい。

(13) 【文化財管理保存事業】

事業名	イバラトミヨ生息地保護
目的	かつて、この池の付近は上海清水などの名水が湧き出しており、その湧水を利用して赤川鮭生産組合が孵化場を建設していた。しかし、昭和48年に赤川頭首工の幹線用水路が水源近くに深く掘り込まれ作られたため、湧出水量が減少してしまったことから、イバラトミヨ成育地域保存のため、平成6年7月より井戸水をポンプアップ(揚水量150ℓ/分程度)により池に注水している。

内容	池及びポンプ井戸の土地借上げ ポンプ電気料の支出 板井川イバラトミヨを守る会との調整
評価・反省	保護池の巡回を行いながら、イバラトミヨの生息を確認した。
27年度の計画	板井川イバラトミヨを守る会との連絡調整をしながら、地域資源として活かしていく。

## 2. 文化・文化財施設関係事業

### (1) 【民俗芸能保存伝承事業】（地域振興課、地域活性化事業）

事業名	黒川能保存伝承支援
目的	古典文化の象徴として郷土に伝わる黒川能の発展を図るとともに、その保存に寄与する。
内容	能楽後継者育成に対する支援（櫛引東小学校の仕舞指導への助成） 能楽をとおした地域活性化と伝統文化保存の機運醸成 （保存研究会の開催、機関紙の発行等）
実績	公益財団法人黒川能保存会による「黒川能面装束図譜」の刊行、平成25年度から取り組んでいた能面装束のデータベース化事業の取組みを支援。26年度末に完成。 第7回黒川能保存伝承研究会の開催(7/20) 講師 馬場あき子氏（歌人）
評価・反省	黒川能保存伝承支援事業は、行政から地元団体に事業・事務が移管したが、王祇祭等の繁忙期では行政も含め協力体制を構築する必要がある。
27年度の計画	第8回黒川能保存伝承研究会の開催、食と文化についてアルケチャーノ奥田政行氏を迎え講演会と関連イベントを計画している。

### (2) 【文化施設管理運営事業】（地域振興課、地域振興事業）

事業名	王祇会館管理運営事業
目的	国の重要無形民俗文化財に指定されている黒川能を中心とした、黒川地域の活性化となる拠点施設として、貴重な文化資源である民俗芸能等の保存伝承を図る。
内容	平成25年4月1日をもって黒川能保存会と(財)黒川能保存伝承事業振興会が統合した公益財団法人黒川能保存会に黒川能の里王祇会館の管理運営を指定管理。 黒川能等民俗芸能文化資料展示と文化活動の推進 観光、体験交流施設案内所としての機能
実績	展示スペース入館者(H26) 3,387人
評価・反省	黒川能に関連する文化財資料を展示公開し、来館者に様々な情報提供することで、観光・交流施設として、文化・観光の振興に寄与した。(指定管理者 黒川地区農業村落振興会)。
27年度の計画	公益財団法人黒川能保存会としての指定管理2年目であり、設置者と指定管理者の事務レベルでの連絡、連携を密にし、より安定、効率的な施設管理運営を目指す。

### (社会教育課、文化施設管理事業)

事業名	丸岡城跡史蹟公園管理事業
目的	加藤清正一族（嫡男加藤忠廣）が幕府より荘内藩に配流され、酒井家の管理のもと丸岡城を居城としたため、周辺地域では加藤家に対する信奉も厚い。丸岡城跡の整備は、市民の歴史理解の向上を図るものである。また、中・近世の埋蔵文化財が確認されており、貴重な文化財の保存・整備の必要性が高まってきていることから、丸岡城及び関連史跡の恒久的な保存を図るものである。

内容	公園管理及び利用活性化検討
実績	丸岡城跡史跡公園は荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会が受託者となって適切に管理されており、人手間がかかる雑草抜きについては、地域住民がボランティアとして、ほとんど全戸の出役で対応している。 かねてから要望のあったガイダンス施設については、市指定文化財「日向家住宅」を丸岡城跡史跡公園内に復元することで、社会教育課が主管となり、整備検討委員会を設置、整備内容を検討してきた。
評価・反省	地域の熱意により、非常に美しく管理されている。
27年度の計画	公園管理については、引き続き顕彰会に委託し適切な管理運営を行うとともに、ガイダンス施設整備について、実施設計の段階に移るので、社会教育課と連携を密にし、円滑な整備推進について協力していく。

### 3. 生涯学習振興事業

#### (1)【生涯学習振興事業】（コミュニティ推進課、生涯学習振興事業）

事業名	生涯学習推進員の設置
目的	社会教育・生涯学習の推進
内容	生涯学習推進員（13名、内女性9名、定員15名以内） 報酬16,000円/年 活動謝金2,000円/回 「趣味の講座」の運営 生涯学習推進員会議 子どもリーダー研修会支援等社会教育・生涯学習事業のサポート等
実績	生涯学習推進員会議 6回開催 鶴岡市生涯学習推進員・生涯学習関係職員等研修会（9/16） くしびき文化祭への出展協力（10/31～11/4） 子ども会リーダー研修会への協力（3/24～25） 2名参加
評価・反省	前期、後期と分けた趣味の講座への運営がスムーズに行われた。 各種研修会への積極的な参加により、推進員の資質向上へつながった。
27年度の計画	任期満了に伴い新たに11名（内女性6名）で活動していく。6名が新任のため、円滑な講座運営ができるよう経験者と事務局でフォローしながら、推進員を育成していきたい。 くしびき文化祭への出展を促すように、「趣味の講座」の運営を行っていきたい。 各種公民館事業への積極的な参加を促したい。

#### (2)【公民館類似施設支援事業】（コミュニティ推進課、生涯学習振興事業）

事業名	自治公民館連絡協議会
目的	各地区自治公民館の相互の連絡を密にし、運営及び事業について研究し、その向上を図ることに努め、もって社会教育の振興に寄与する
内容	館長・主事・文化部長研修の支援及び視察研修、年度末研修 社会教育の推進、出前講座・成人講座等の開催支援
実績	視察研修（川西町）8月24～25日 34名参加 年度末研修 3/7 32名参加、事例発表 西片屋地区公民館、東北地区公民館 研修講話 三瀬地区自治振興会 事務局長 石塚 慶氏
評価・反省	県内視察、年度末研修において、先進地事例の取り組みを視察、研修するとともに情

	報交換を実施し、自治公民館活動の活性化を推進した。
27年度の計画	27年度は温海ふれあいセンターを会場に東北地区公民館会大会（兼社会教育研究大会）が10月1日～2日開催されることから、例年の県内外視察に替えて参加研修を予定している。 また、年度末研修で行ってきた事例発表については、今年度の東南地区、桂荒俣地区で21公民館が一巡するため、28年度以降の研修内容（たたき台事例：櫛引地域内あるいは他地域の公民館の現地における事例研修と意見交換等）について、日々の公民館活動の実践に、結び付くものとして改善、検討する。

事業名	<b>公民館類似施設事業振興（運営補助事業）</b>
目的	自治公民館の運営費を補助し、自治公民館活動の振興を図る。
内容	算定基準を25年度まで均等割り、人口割り、事業費割り、運営費割であったのを、26年度より、「世帯数割」に制度変更
実績	予算額 786,000円を31,000～58,000円で助成
評価・反省	公民館の会計と自治の会計を一本化する集落が増えてきた。
27年度の計画	26年度の算定基準と同様に各地区に世帯数（27年3月31日現在）割に応じて100,000～300,000円の助成を行う。

事業名	<b>公民館類似施設整備事業</b>
目的	生涯学習の拠点である自治公民館の施設等の整備を整備することにより、公民館事業の推進を図り、ならびに地域住民の融和を図る。
内容	自治公民館の改築・改修・設備整備に対する助成
実績	施設整備 梳代地区公民館（外壁改修整備）
評価・反省	平成25年度に調整予定だった補助金要綱が翌年度に持越しとなった。
27年度の計画	現行補助金制度での27年度予定（下山添地区公民館：屋根改修工事、宝谷地区公民館：音響設備、黒川中地区公民館：洋式便器設置整備）を執行。 新補助要綱の制度が、調整結果、決まり次第、各地区に説明、周知を図る。

事業名	<b>出前講座（自治公民館学習活動の支援）</b>
目的	充実した生活を送っていただくために、情報発信・交換を行う。また、住民の声を把握し、政策マーケティングにも繋げていく。
内容	鶴岡市が行っている仕事や事業、住民の方々の聞きたい内容を櫛引庁舎の職員等が地区に出向いて説明し、意見交換等を行う事業（全20講座）。また他、団体が行っている出前講座についても情報提供し、学習機会を広げている。
実績	計13回開催 271名参加（総務企画課4 市民福祉4 図書館2 公民館3） 交通安全、防犯、防災、年金、健康、ゴミ、昔話、移動写真会
評価・反省	各種情報提供・意見交換ができ、生活に役立てることができた。また、地域の方々と情報交換もでき、業務の参考にすることができた。
27年度の計画	担当課へ新メニューの検討を含め照会を行う。 庄内総合支庁の出前講座や社会福祉協議会のふれあい福祉講座等、各団体が行っている出前講座の情報も収集し、情報提供を行う。